



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院社会学研究科 ジェンダー社会科学研究センター

一橋大学国際交流セミナー

科学研究費基盤研究(C)「EUにおけるレイシズムの新展開と社会構造の比較研究」

第33回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

2015年7月15日(水) 16:30~18:30

講師: サミア・シャラさん/アブデラリ・アジャットさん

(映像作家)

(パリ西大学准教授)

ヴェールの政治学

——ジェンダー・身体・植民地主義——

(使用言語:フランス語、通訳あり)



今年1月にパリでテロ事件が起きて以来、フランスではムスリム移民への嫌がらせや暴力行為がふたたび急増し、なかでもヴェールを着用する女性への攻撃が激しくなっています。「人権の国」を自称するフランスで、宗教的マイノリティの女性が着用する衣服=ヴェールがなぜ、これほどの攻撃に晒されているのか?この問いを考えるため、本LSでは在仏アルジェリア人映像作家のサミア・シャラさんによる自伝的ドキュメンタリー映画『マダム・ラ・フランス—なぜ私はムスリムになったのか』(2012/52分/日本語字幕付)を鑑賞し、その後シャラさん、そして社会学者のアブデラリ・アジャットさんとともに、ヴェール攻撃の背後でジェンダー、身体、そして植民地主義の問題がどのように絡み合っているのかを考えていきます。

ふるってご参加ください。予約は不要です。

- 司会: 森千香子さん (本学法学研究科准教授)
- 場所: 一橋大学東キャンパス
第三研究館3階 研究会議室
- 連絡先: ジェンダー社会科学研究センター
cgrass@soc.hit-u.ac.jp